京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●韓國の司法問題（倉富法部次官の談）

▲司法機關新組織　韓國司法權委託に關する日韓覺書の實施については目下專心準備中なるが該司法權を日本司法省の直轄とせずして統監府の所轄とする事なれば統監府官制を改正し統監府において一切の司法權を行ふこととなるべし目下新組織について問題となり居るは從來の通り三審制度とすべきや將た臺灣若しくは樺太島等の如く二審制度とすべきかについては種々議論あり未だ決定に至らず

▲司法豫算の膨脹　韓國の司法行政費は現在統監府豫算の内に計上し居るも年々二百萬圓以上を要するにより今回司法權の委托を受け一切之を管掌するに就ては更に二三百万圓を要すべき見込なるが未だ具体的に編成出來ざるも區裁判百十二創設の計畫中なり昨年度に於て四十ヶ所新設したるに過ぎざれば此の際直ちに七十二ヶ所の區裁判を新設せざるべからず之れ等の工費も些少にはあらざる見込なり

▲治外法權の撤去　在韓日本人に對しては司法權委託により日本裁判所において裁判するにより何等異狀なきも在韓外國人に對する治外法權を如何にすべきやといふに過般の司法權委托は日韓兩國間のみの關係にして外國人の法權には關係せざりしを以て外國人の民刑裁判の管轄は毫も從來と異らざれども將來日本裁判所の設備完全となる曉には諸外國と交渉の上一切日本裁判所において取扱ふ事となるやも知れず

▲不動產の所有權　韓國民の不動產所有權は裁判所に登錄し所有權を保護するが如き事は更に無く人民の所有權は實に不安の狀態にして現在韓民の土地賣買讓渡等は郡守若くは戶長といふが如き者の手にある「文記」と稱する地權樣の書證一枚にて保證を與へ權利の移轉をなしつゝあるが極めて不完備のものなれば將來はそれ等の制度を根本的に改正し人民の權利を保護せざるべからずと思惟すと云々

●韓國貸付金增額に付

本社東京電報は韓政府貸付金を增額し向ふ五箇年間每年度三百万圓を支出し更に四十三年度に於て七百六十萬圓を大藏省豫算に計上せる旨報じ來れり今此事に就き某參與官の語る處によれば未だ何等詳報に接せざるを以て具体的に說明する能はざれども思ふに去る三十九年日韓新協約の實施に伴ひ施政改善に要する經費即ち主もに傭聘日本人の俸給旅費手當支辨の爲めとして日本政府は韓國へ對し一千九百六十八萬二千六百二十三圓を無利子貸付の契約を爲したり右金額の内既に受渡を了せるものは左の如し

四十年度	百七十六萬九千五百三圓
四十一年度	五百二十万九千五百八十圓
四十二年度	四百六十五萬三千五百四十圓
合計	一千百六十八萬二千六百二十三圓

にして殘餘は八百萬圓あり此受渡豫定は四十三年度四百萬圓四十四年度四百萬圓なるが今回司法權委任協約成立の結果法部經費は全然不要に歸したるを以て將來の貸付年度制にて此不要額は當然控除すべき筈なるも韓國の現狀は多々施設を要する事業ありて更に日本政府の補助を仰がざるべからず依て荒井次官東上の上大藏省と交渉を遂げ從來の貸付金費途を變更し別に東電の如く向ふ五箇年を限り三百万圓宛の新貸付を乞ひ同省の承諾を得たるものなるべし然れば四十三年度に計上する七百六十萬圓は則ち新貸付の三百萬圓と既定の貸付金四百萬圓とを合算せるものならんと云ふ（電報通）

中山大納言

第五十四席　桃川燕玉演

○「成程それもさうだ」と茲で三人急にがらり氣が變つたのが、さばかりの山縣大貳だが一の言葉の利きやうが宜くなかつたものと見へて、そこで此三人が急に願書を認めまして、其翌朝大手前へ來つて相待つ。○朝來だきより恐ろしい大雪でございます、眞綿を寸斷つて投げるやう、往來も途絶ねて居る所へ、刻供でございまして御上りに相成つたのが、石州濱田で六萬石松平右近將監、當時天下の老中の勢ひは飛ぶ鳥を落すばかりでございますから、目付々々に於てハイヨッ〳〵、と云ふ控下郎と云ふのが掛ります、雪の降りて居る中を駕籠側の士は高股立を取つて草鞋掛け、少しも寒さうな顔色は致しませぬ、突袖でございましてトゥ〳〵トゥ〳〵と乘込んで來た所へ、桃井宮澤佐藤の三人、御駕籠側の處へバラ〳〵ッと飛んで來て　三人「御訴へ申します、御願ひの者でござる、御採用を願ひたい」と與一文字に飛込んで來た、諸家樣で駕籠側の士と云へば皆選み人、腕の出來る人ばかり揃つて居る　○「控へさつしやい、願の儀があらば順道を以て訴へ出さつしやい、差越し强訴は採用は致しませぬ、下らつしやい」と流石士でございますから粗末な口は利かん、大手を擴げ遮つて、押除けやうとするのを三人の者は　三人「恐れながら天下の一大事、御採用を願ひまする、天下一大事の儀御訴へ申上げまする」と聲々に呼はる御乘物にあつた。右近將監　右「コヽ天下の大事、取上げ取らせい　家「ハッ」と云ふとバラ〳〵ッと三人を取卷き　家「御採用下される、有難く心得さつしやい、神妙になさい」と云ふ、願書は御乘物に入る、直ぐ三人は右近將監の御同勢が護衛をして上屋敷へ之を引立つて參りました、松平右近將監直ぐ御登城になり、老中御用部屋へ來て御同席方と御同座の上で　右「さて今日登城懸け駕籠訴致した者がござる、斯樣々々」と願書を開いて見ると、山縣大貳藤井右門、此度天下を覆さうと云ふ容易ならぬ計畫を企だつて、斯樣〳〵云々と明細に書いてある、御一統の人々呆れ驚きになると伊豫守殿が「イヤ豫て大貳と云ふ者は合點のいかぬ奴と心得るから、拙者家來今村源六、内藤源次郎、茂山彌左衛門と云ふ三人を大貳方へ間者に入れ置きましてござる決して驚くには及ばぬから」そこで御老中方が御相談の上、町奉行筒井大和守へ御沙汰に相成つて其手配を致しました。此方は山縣大貳竹内式部の兩人、もう是れ追々準備も整ひまして近きに事を企てやうと云ふ、用事がございまして駿府迄行かねければならぬ。十二月の末江戸を出立をし、留守は藤井右門が一人殘つて居ると、今村源六、内藤源治郎、續いて茂山彌左衛門と云ふ三人「エ、藤井先生、今日は如何なさいました　右「どうも兩三日風邪の心地何だか氣色が勝れませぬ　三人「先生にも御似合なさらぬ山縣先生は……　右「山縣先生は用事があつて駿府へ發足をされた　三人「ハヽア、何と先生、宅に引籠つて御出でになつては却て病氣が募る、浩然の氣を養ふ、御同行なさい一杯やりませう　右「左樣…　甲「病は氣で游つ先生にも御似合なさらん、風邪を引いた位で鬱々となすつて居てはいかんからさア〳〵御出なさるが宜い品川へ御同行なさい」と茲で打連れまして右門を誘ひ出したのが、品川で有名の土藏相模と云ふ、此へ參りました。幇間或ひは藝妓を集めまして女郎買と云ふ、此三人が巧く取持ちましたから、藤井右門に於ても大分心地能く大盃を擧げまして、飲めよ謠へと云ふ大酒宴になると　右「ア、是はどうも宜い心地になつた各位の御陰ですつかり氣分も冴々とし、宜い心地になつたと、元と大酒家でございますから、引受け〳〵飲む、尤も此品川の遊女屋は、裏手の方は一面に海でございますから好い景氣で、誠に眺望も宜し氣も冴々として、右門が大分宜い心地に醉つたと、今村源六が「さア〳〵女共、只の遊びは面白くない、當時流行の蒲團鬼だ蒲團鬼だと云ふと多くの女手合が　○「それでは旦那樣さア此方へ入らつしやい、誰それが鬼になつて」と云ふので、此蒲團鬼と云ふは其頃大層流行つたもの、詰らない事が流行つたものだが、昆布卷の化物見たいに蒲團をどつさり身体へ斯う卷付けまして、胴中の處を帶で結へてさうして鬼にして、大勢が周圍を取り卷いて、アー〳〵と囃つて騒ぐ鬼ごつこと云ふ奴、蒲團を身体へ卷付けて居ますから、鬼先生が一足歩いては倒れ、二足歩いては轉ぶ、多くの男女が周圍を取卷いてキャッ〳〵と騷ぐ面白い事一通りでない、藤井右門が苦笑をしながら見て居ると、内藤源治郎が「どうです、先生、一つ鬼になんなすつては　右「イヤ身共は御免蒙る　源「イヤさうでない、面白いから一つ先生やつて御覽じろ……サア〳〵女共、此先生に今度鬼になつて戴け　女「左樣でございますか、あなた此方へ入らつしやい　右「これサ止せと云ふに　女「そんな事を仰有いませんで入らつしやい」と云ふ、對手が女手荒い事も出來ず、醉つては居るし、右門が「コレ〳〵止さぬか、止さぬか」と云ふ中に、大勢頭右門へ蒲團を押被せる。



京城新報

警察部長會議

地方の各警察部長は今や首都に會同せられ、中央政府の諮問に應へ且つ地方警務の施行上に對する訓示を受くると共に、今後の施設に就て會議しつゝあり、曩には書記官會議あり、觀察使の會同ありて地方政務の施行に就ては遺憾なく中央政府の訓示を受けて着々之を實行し居るべければ、今更に警察部長の會同は殆ど重複にあらずやとの感を抱するものなきに非ざれども、地方行政現時の狀態よりすれば、各警察部長が會同して警察事務の施行に就き討議することは此際決して無要の事に非ず、何となれば地方政治の重なるものは警察事務にして、今や數百年來の陋習を一洗し新政の良善なるを知らしむるの時代也、此際に於て最も人民に直接して能く與意を了解せしむるの任に當るものは警察官なりとす、此直接する警察官にして人民に對する擧措の良否は直に新政に對する謳歌となり、或は怨嗟となる、是故に一警察官の擧措なり迚輕々に看過する能はざる也、蟻の穴より堤防崩壞すと云ふにあらずや、如何に善良なる政治を布かんとするも、直接の施行官にして不良ならば人民は決して喜ばざるのみならず、却て之を怨嫌するに至らむ、斯くては折角の良政治も其眞意を沒却するに至るべし、殊に現時の韓國財政にては多數の邦人警察官を地方に派遣すること能はず、爲に其多數は韓人警察官に依らざる可らず、故に之を監督する所の警察部長の勞苦や大に稱すべきものあり、此最も重要なる任に當れる警察部長の會同は中央政府が地方政務の實況を知得するの便宜となり、且今後の警察事務を發展せしむるに於て大なる効果あるべしと思はる、余輩が警察部長の會議を重視する所以は乃ち玆にあり。

邦人警察官の地方に派遣せられて警務を施行せらるゝに至るや地方の狀態は著しく改善せられたることは今更に言ふを要せず、而して其警務を實行するに當りては舊思想を懷ける郡守等とは往々衝突せしこともあらむ、然れども廉潔を生命とする邦人警察官の態度は自然人民に好感を抱かしむるに至れり、數百年來惱まされたる地方官の誅求、賄賂等は漸次に跡を絕つに至らんとするものありとせば之は全く邦人警察官の力なりと云ふも決して過言に非ざるべし、余輩は韓國政府は財政の許す限り我邦人警察官を地方に派遣して新政施行の任に當らしめんことを望む、數年の後には韓人警察官も廉潔の風に化するに至るべし、今は乃ち地方行政の刷新と云ふよりも創草の時代とみはざる可らず、余輩は各警察部長諸君が此點に於て能く中央政府に稟議せられんことを希望するもの也。

東京電報

▲間島總領事の決定 間島總領事は前上海總領事永瀧久吉氏昇任することに決したり尚は局子街、龍井村、東盛湧、百草溝の四個所事官は來月開館すべく領事は本月末赴任すべし(十六日午后着)

▲韓銀總裁以下任命 韓國銀行總裁理事監事は總會後任命さる可(同)

▲韓銀拂込總會 韓國銀行株金は來月十五日迄に拂込を爲し月末に總會を開く筈なり(十六日午後七時)

▲東宮殿下御行程 皇太子殿下は本日岐阜市に御着縣師範學校縣市立學校へ成らせられ夜は提灯行列ありて熱誠なる市民の歡迎に最も御滿足遊されたり明十七日は大垣に向け御發輿相成る筈(同上)

▲清艦引受の運動 三菱造船所は清國の軍艦製造を引受けんと欲し原口博士外清國通の人々を傭聘し盛んに運動を開始し居れり(同上)

▲政友會の祝賀會 政友會は大會後午後五時より更に祝賀會を開きたり朝野紳士四百五十名出席八時散會す(同上)

▲日糖債權者再會 日糖債權者會は本日再會せしも何等決定する處なくして散會し明十七日更に開會の筈なり(同上)

▲日宗精算人任命 日宗生命保險の精算人は辯護士岡村輝彥氏外二名任命せられたり(同上)

▲取引所尚は停止 昨日解停せられたる東京米穀取引所は當中兩期に限り尚ほ波數は間停止の筈なり(同上)

▲內田良平氏渡韓 內田良平氏は本日新橋發渡韓せり(同上)

▲黃海海戰紀念會 本日は黃海々戰紀念日なるを以て當年の海戰に關係せし人々は水交社に集まり紀念會を開きたり

▲前印度總督來韓 前印度總督キチナー將軍は來る九月廿六日香港到着廣東より北京を經て滿洲より韓國を經由して十一月一日敦賀に到着すべしと(十七日午前着)

北京電報

▲清紙の發行停止 日清協約に對し過激の筆鋒を以て批評を試みたる北京發行の國報、大同日報兩新聞に對し清國政府は發行停止の命を發したり(十七日)

ルーター電報

▲英國前海相死す 英國前海軍大臣ツウキードマス氏は病死したり(十七日東京經由)

紐育電報

▲米大統領の遊說 大統領タフト氏は十五日米國內遊說の途に就けり(十七日東京經由)

奉天電報

▲吉會鐵道の反對 吉林八士は吉會鐵道問題に關し激烈なる反對運動を開始せるが右は東三省の有力なる某々官吏の煽動に出づるもの也と(十七日)

地方電報

▲朔州金鑛の不穩 十五日平安北道朔州郡九曲面新安洞所在趙市鎬所有金鑛の鑛夫約一千名間に鑛區分割に關し紛擾を生じ三名の負傷者を出したるも駐在巡查の說諭に服し解散せり尙不穩の狀況あるを以て當地警察署より巡查四名急行せり(十五日義州發)

▲右別報 十五日夕朔州金鑛々區の事より鑛夫鑛主間に紛擾を起し不穩の模樣あり當地(昌城)より憲兵出張せり(十六日昌城發)

▲同第二報 朔州の事件は鑛夫間に鑛石の分配より喧嘩を起し負傷者六名を出したるも鎭定せり(十六日昌城發)

▲同第三報 朔州金鑛又々不穩の狀況あり昌城より憲兵及び守備隊急行の筈なり(十七日昌城發)

雜報

●私賣國有地の處分 韓國土地臺帳の設備不完全なる爲め從來管理者又は小作人に於て私賣したる國有地少からざる由なるが度支部は今回左記方針に依り整理を爲す筈にて既に法部及統監府の承認を得たりと

一、現在の占有者に於て國有地たる事を知て買收したる者又は容易に此を知り得べかりしにも拘らず重大なる過失に依り此を知らざりしもの假令賣買文記並に郡衙登記臺帳等に國有地たることの明示せらるゝか或は其買收價格か時價に比し不相當に低廉なるが如き等明白に惡意又は重過失を認定し得べき者に對しては其賣買を無效とす

二、無效と認定したる時は其旨本人に通知し土地の引渡を求め尙且郡衙理事廳の證明又は查證を經たる者は其抹消を請求する事

此平穩に土地の引渡をなすことを應諾せざる者有る時は當該官廳に訴訟を提起する事

四、第一項に該當せざるは占有者の權利の處分に就ては別に調查方法を定む

因に統監府は右度支部の整理方針を承認し各理事官に通告したりと云ふ

●警察部長會議(第二日) 引續き中樞院內警察官署所分室に於て開會午前九時より國分檢事總長の訓示演說あり次で安住書記官より區裁判所取扱事務に關する注意を與へ夫より裁判所事務に關する諸問題を討議し正午休憩、午後一時より俵學部次官の訓示ありて後私立學校取締りに關する諸問案を議したり而して當日の列席者は國分檢事總長、世古檢事長、安住書記官、膳大審院檢事、伊藤控訴院檢事の外藥師川、加藤の憲兵隊副官其他なりし

●鑛業權讓渡と徵收法 鑛區稅或は砂鑛採取稅を納めずして鑛業權を他人に讓渡す時は同法施行細則第二條或は砂鑛採取法施行細則第一條に依り該權利讓受者に對し其不納稅金を徵收し又鑛產稅の場合に在りては鑛業法第二十條第一項但書に依り即時其讓渡人より徵收す若し其讓渡人指定の期限に納付せざる時は讓受人より徵收すべき旨度支部訓令を以て財務監督局財務署等へ令せられたり

●手形組合保證と支拂 漢城手形組合が光武十一年一月十五日より隆熙三年八月三十一日迄の保證額は組合本所に於て四百七十九万九千四十二圓水原支所に於て十三万千七百四圓にて合計四百九十三萬七百四十六圓なるが之れに對する支拂額は總計四百六十三万七千九百三十六圓現在保證二十九萬二千八百十圓なり

●韓銀申込株の確定 韓國銀行創立事務所にては十二日韓國取扱銀行の報告書類到着し愈々正式の報告悉く集まりたるを以て申込總數茲に確定したり即ち申込總數二千三十五萬三千三百七十七株、口數四萬四千九百三十二口にして申込總數は皇室御持株重役持株計二千四百株を差引きたる一般募集六万七千六百株に對し三百一倍八五四に當る而して按分比例の結果三百二株に付き一株の割當を得るに確定したり尙ほ一口に對する申込株數は平均四百五十二株九八に相當すと

●輸出牛檢疫所の近況 八月二十日より開始せし釜山の輸出牛檢疫所は檢疫を開始せし以來本月十五日までに收用したる畜牛約百五十頭にして開放せしもの五十餘頭なりと

●輸出牛檢疫申請心得 釜山より輸出する畜牛の檢疫に就き其筋へ申請すべき心得書は目下農商工部に於て起草中なるが不日發表の上此規定に據りて申請を爲さしむる筈なりと

●商品包裝と送狀 商品包裝の完備せると否とは商業運搬上至大の關係あり英國にては包裝の不完全が海外貿易に影響を來せし例もあり日本にても曾て外國向包裝に就きて大に商業界の問題となりしこともあるも今や棉糸、綿布、麥酒等の如き一定の貨物の他韓國向雜貨は依然包裝不充分にして道中の損傷は固より關稅檢查の際等無用の手數を要し經濟及時間の上より見て損害少からず送狀も今尙は舊幕時代の式を踏襲せる爲め前記檢査の折の如き頗る繁雜を極む例之ば送狀の記載方不完全なる爲め同一內容の貨物數個ある際に於ても個々解裝の煩を免るゝ能はず爲めに檢查時間を空費する如き損失を招くのみ商●利用も單に貿易に向てのみならず其範圍を廣汎にし理想の如くなすを得ば關稅檢查等に際し便利となること尠からざるべしと關稅出張所員は語れり

●商會議聯合會第三日 商業會議所聯合會の第三日は議案に對し各關係者の意見を聞くこととなりたるに依り夫々關係の各官廳に交涉したるが今朝は木內農商工部次官も臨席すべき豫定なりしも事故ありて參會せず中村農務局長臨席して農務に關する演說を爲し午後二時よりは岡內部次官參會して韓國道路の修築に關する演說同三時よりは統監府荻田書記官の米穀輸出に關する統監府の方針と商業會議所の資格は嘗て領事館時代に於て認識せられたるものなるが今日統監政治の時に於ては如何に之れを見認するやの質問等ありて散會せり尙十八日第四日目は小松書記官岡逕稅課長臨席の上夫々演說すべき筈なり

●忠北不植田面積收獲 忠淸北道に於ける旱害の爲め作物を植付けざる面積は田二十五萬千五百九十七町步にして內稻の不植田は十八萬八千九百九十四町步なるを以て全不植田面積の三分の二を占め居れるが米麥粟等を代植したるに依り全く收穫を失ひたる地は僅少なりと而して八月中旬の霖雨の爲め作物の成育比較的良好にして稻は目下乳熟期にあり早きは黃熟期に入れるが作柄は平年以上にして收穫高は約一割減の見込なりと

●咸北の粟作收穫皆無 咸鏡北道慶源郡に於ける粟作は害虫の爲めに殆んど其枝葉を食ひ盡され今や他の作物に移食せんとするを以て目下驅除を督勵しつゝあるも粟作は收穫皆無なるべしと

●愛媛觀光團の來着 愛媛縣松山市勸業協會の主催に係る韓國觀光團の一行二十六名は愈々今十八日午後八時十分南大門着列車にて入京原金、三日月の兩旅館に分宿すべしと尙十九日に於ける一行は午前中農商工部商品陳列所、パゴタ公園、昌德宮、景福宮(漢城府民會歡迎會あり)等參觀午後二時より京城民團及商業會議所の歡迎會に臨み午后五時和將臺に於て記念の撮影を爲し六時三十分より掬翠樓に於ける愛媛縣人歡迎會に臨場の筈なり

●仁川の埋築模樣 仁川港海陸の聯絡を至便ならしむべく過般來工事中の陸軍運輸部前第二期埋築工事は目下稻田勝彥氏の手にて人夫三百餘名を指揮し極力工事を急ぎ居れるが遲くも共十一月末日迄には竣工すべく其坪數は二千餘坪にして鐵道線路を仁川驛より延長し以て仁川稅關第一期埋立地に目下工事中の棧橋より陸揚したる貨物を直に貨車に積載して海陸の聯絡を圖らんとする者にして竣成後の至便は甚大ならん

●間島鑛物の有望 從來間島鑛物の採掘に着手したるものは交通不便の爲め常に失敗に終りたるも東間島には金鑛、銀鑛、銅鑛、鐵鑛、石炭、石灰、陶土及飯土、石材等有用鑛物を產するを以て將來道路鐵道等完備するに至らば必らず有望なるものあらんと最近同地を調査せし某技師は語れり

●民團稅の滯納額 仁川居留民團四十二年度上半期稅の滯納額は約七八千圓に上る由にて當事者は其整理に困難を感じ居れりと因に仁川在留の淸國人は約二百戶に及ぶと雖も未だ稅金の滯納者一名もなしと

●統監の領事招宴 曾禰統監は白耳義總領事バンカー氏及佛蘭西同ベラン氏轉任に付廿三日夕統監邸に兩氏を招待して送別宴を開く筈なるが陪賓として各國領事及統監府の重なる高等官を招宴すべしと

●江景の日本人會 江景日本人會にては過般事業繰延べ會債償却及び會長選擧の爲め議員會を開きたるが議論二派に分れて頗る紛糾を極めたる結果消極的の成功に期し會長選擧は延期となりたりと云ふ

●公州と外煙草商 仁川在留埃及煙草商會員英國人カテースは日本人某と共同して公州邑內に煙草販賣店を開く筈なりと

●定例參與官會議 本日午前九時各參與官統監府に參集定例參與官會議を開く

●富田氏の追悼會 仁川前民長富田耕司氏の追悼會は豫定の如く昨十七日午後四時より仁川本願寺別院に於て執行せられたるが參會者數十名に及び頗る盛況なりしと

●千葉縣人會開會 來る二十四日午後五時より掬翠樓に於て同縣人會を開く由なり

●鮎川元恭氏轉任 群山區裁判所判事の同氏は光州地方裁判所部長に轉補したりと

●副理事官の歸任 京城理事廳春川副理事官は歸省中なりし處十五日歸任したりと

公人私人

▲川上繁治(平壤手形組合理事)十六日入京

▲牧田滑吉(金融組合理事)同上九州旅館へ

▲戒田濟澄(江原農工銀行主任)同上山本へ

▲有賀光豐(鎭南浦稅關長)十六日歸任す

▲大內暢三(福岡縣代議士)十六日仁川へ

▲曲尾辰二郞(鐵道院技師)同上新義州へ

近事片々

▲祖國の秋豐は頗る好況二割强の增收あり米作は開闢以來の豐穰是では國運隆々

▲豐年踊の催しも是では尤も併し觀樂極まる哀情起る先づ勝て兜の緖を締るを要す

▲韓國も或は平作以上と頭者當局邊りで言ふ果して事實ならば甚以て喜ぶべき事也

▲日本豐作韓國も豐年なら米の販路に困る杯氣遣ふ小膽者有販路は世界に澤山ある

▲價格さへ少し安くすれば米の需用は世界に多し必ず心配するな輸出は盛に起來る

▲韓國の歲入難と今頃言囃す者有先以て富源を開發し產業を盛ならしむる外あらず

▲扶導開發は之が爲也取上る方法は後廻しにして富を造らしむる方法を先にすべし

▲財源なければ富源の開發難しとか夫れに於て外債の必要起る是富源開發の資本也

▲東京にては對韓政策に多少の變動あるべし杯と噂あるが片々子は到底是は信ぜじ

▲斯る噂を立つるは何者かの惡戲ならむ斯る輕忽の風說は害有て益なし傾耳は無要

▲哥薩克兵商人風に裝ふて蒙古に侵入し各王を巧に懷柔すとの說あり果して事實か

▲併し事實とするも我に於て何かあらむ露國の蒙古經營の計畫は或は無理ならむ

▲淸國の統一區域擴大にて蒙古の邊陲に迄政治普及し難し遠に普及せしむる所あれ

▲米國には二人の北極探險者あり迚英國の負嫌いの軍人スコット南極探險を思立つ

▲彼にはスタンリーあり今又スコット大佐あり英國々勢の衰へざる證據甚だ頼母し

▲金堅はハリマンを大倉雨敬に比す淺野の太つ腹の爺と評す何れも未だ異相ならず

▲八氏は大倉雨敬の如き桑町八に非ず能く政治を解す匹を求むれば我長政錢五の徒

▲內藤湖南京都大學文科敎授となる蠻には幸田露伴を容る京大文科は愈々以て振ふ

▲火星の接近愈々本日也尤も韓國は廿四日が最接近日也ドレ今夜から見てやるべい

▲米國天文學者の合圖は如何にしてなすべき苦し反應があつたら全く空前の出來事

●科料一束 大阪生平民常時京城青葉町七番戸飲食店松春亭事山口松之助(三〇)は [illegible] 古市町十番戸小原ハマ方居留水戸聰男(四八)は去十二日無燈火の自轉車にて夜街を疾驅 [illegible] を怠しに依り科料五十錢に何れも十六日西部署にて即決處分せらる

張店中本町一丁目別府組人力車夫錢木消一(三〇)が醉拂ひ來り溫飩一杯を命じたるに金 [illegible] 腹し車上の溫飩を大道に散布し茶碗を破損し [illegible]

[illegible] 內部へ所管換となりたる歷代殿陵の祀典事 [illegible]

ス(ヘ)を雇ひ所轄署に制規の届出を怠り…に依り科料一圓に 東京市中民當時京城…

時京城南米倉町十八番戸飲食店營業古家トヨ(三五)は去十二日自家の酌婦を解雇して届出…

統戸不詳温飩行商業韓人金永花(三五)は昨日午前一時過ぎ長谷川町一丁目本願寺前にて…程にても調達するも未だ該金未濟中は其求めに應じ難しとて拒みたるに宿一は大に立…に損害金五錢を賠償せしめ厚く將來を戒む

●殿陵祀費の支出 客年宮内府より

愛媛觀光團を迎ふ

同郷 森柳江

天高く、地清く、身心自ら爽然たり、旅行のシーズンとして最も好適也、而して秋は心自ら靜寂として事物を觀察するに妙也、出世間たる西行法師さへに秋の旅には悟得せり、「心なき身にも哀れは知られけり鴫立つ澤の秋の夕ぐれ」と心なき身にも宇宙の自然を大觀せり、斯く考へ來れば何人も征意勃然として動く、春の旅は樂し、秋の旅は哀れにて嬉れし、是れ豈獨り詩人の感想のみならんや、俗事に多忙なる人は尚更に秋を可なりとす、何となれば物の眞相を觀破すべく心に沈着なる平和あれば也。

此好季節に際して我愛媛觀光團來る、最も其時を得たりと云ふべき也、余は滿腔の熱誠を以て之を歡迎す。

滿韓視察は今や祖國に於て一の流行となる、然り流行なりとて斯ることは決して厭ふべき事にあらず、否今後益々流行せしめざる可らず、滿韓は我大和民族の發展地として殆ど唯一の邦土也、大陸經營文明宣傳は日本國民の使命也、滿韓視察の流行は軈て滿韓經營の流行となる、滿韓經營の流行は乃ち日本帝國の發展也、余は此意味にて愛媛觀光團を歡迎す。

來れ愛媛觀光團の健兒、而して能く視察して眞に經營するの基礎となせ、韓國の天地は手を擧げて諸君の視察經營を待ちつゝあり、唯茲に諸君が注意せざる可らざるは韓國の眞相は京城、釜山、仁川等を觀たりとて決して知悉し難き事也、京城十里の外は全く別天地也、其山光水色の依稀として五百年前に異らざるのみならず、其人民も殆ど太古の風を存ずる趣あり、京城及び開港場の韓人が輕浮にして飄々たるが如きは決して全韓人の眞相にあらず、是を以て眞に韓國を視察せんとならば地方の狀態を觀察せよ、是れ余の愛媛觀光團に望む所也、聊か異情を吐露して歡迎の辭となす幸に其潛越を咎むる勿れ。

●仁川警察醫の無能

▲罪を居留民に謝せよ

仁川に於ける虎列剌は今や益々蔓延の兆ありて初發以來の患者百數十名を數ふるに至りたるが之より先き本月五日仁川府内面花村洞に吐瀉患者數名發生せしかば仁川署は

高木警察醫をして檢診せし

めたるに急性腸加答兒と診斷せしを以て其筋に於ては別に豫防措置をも施さゞりしに其後各部落に當り同性質の患者續々發生せしを以て念の爲め同八日内部衞生局に向ひ該患者糞便の檢査を求めたるに正しく眞

性虎列剌菌を發見

したる旨飛報に接したる仁川署の驚愕は何に譬ふべくもあらず直に各部落に對して撿病的戸口調査を行はしめたる處數十名の虎列剌患者をば發見したり茲に於てか仁川署員は必死となりて豫防消毒に努めたりと雖も時や既に

遲く病毒は各部落に散蔓

して如何共詮方なく朝鮮に於ける虎列剌最流行地を以て目せらるゝに至れり噫々之れ誰の罪ぞ固より韓人の衞生思想なきに起因するものなれ共少しく早く虎疫患者たるを知らんには其れに對する應急措置も怠らず或は今日の如く猖獗を極めざらましにと今や市民一般口を揃へて高木警察醫の無能を唱へつゝあり

●暴徒人を生埋にす

▲荒縄にて縛したる儘

去る十一日午後十時頃一隊約五十名許の暴徒の群黄海道金川郡上東津方面より京畿道開城郡江南面琴岩洞農業金顯允(四二)方に闖入し同人を荒縄にて縛し上昨年來洞の際約束し置きたる

籾四百俵を差

出すべし若し叛なれば金千八百圓を即刻調達すべしと強迫したるに金は到底調ふべき見込なしと詫入りし所同賊は貸金催促の爲め金方に來泊せる開城居の金某(四十)が同室に在るを發見し汝は舊と我等の

同類

なりしに逃走せしは怪しからずとて強奪を爲し所持金を殘らず差出せしめ二人を縛して引立て

村内より鍬を集め

同里東方鶏中方向へ向ひしは十二時頃なりしが洞民は出れば殺すとの脅しに恐れ翌朝山上に上り垣間見るものさへなかりしと追々二三賊立歸り鍬は東方の山上に在りと言捨てゝ立去りし故村民は恐々同所に至り見るに掘返したる如き跡あるより掘出し見しに果して兩人は荒縄にて縛され居り身体に何等の異狀なきより見れば全く生埋にされたるものらしく賊の首魁は中年者と呼ばれ白衣を着け

軍刀を携へ

他は皆な洋服に

學生帽

の如きを被り三十年式又は

モーゼル銃

を携へ居たりと右の情報に接し憲兵隊よりは直ちに搜索せしも行衞不明なりしといふ

●仁川の虎疫彙報

▲益々猖獗を極む

▲日本町の新患者 仁川韓人部落に於ける虎疫は其後日增しに蔓延の兆あるより各係官は殆ど寢食を忘れて防遏に全力を傾注しつゝある事は既報の通りなるが一昨夜日本人部落に一名の新患者を生じたるぞ恨なれ

▲前患者發生區域 場所は濱町三丁目の前患者發生區域内にして患者は平山政太郎方岡忠吉(三五)と稱へ一昨夜龍山より立歸るや直に腹痛を感じ吐瀉下痢數回に及ぶより醫師の診斷を仰ぎたる處正しく眞性虎列剌と判明せしかば昨朝避病院に收容すると同時に一層交通遮斷を嚴重にして病毒の撲滅を圖りつゝあり

▲患者百二十餘名 病源地なる永宗島及び龍遊島方面に向ひ撿病的戸口調査の爲め出張中の二宮警部一行よりは其后何等の報告に接せざる由なるも花村洞其他各韓人部落に於ける初發以來の患者數は昨日正午にて約百二十余名に達したりといふ

▲韓人部落の衞生 尚韓人部落に向つても果物及び肉類其他危險の虞ある飲食物の販賣を禁止せるは無論昨日仁川署岡本警部は各韓人防疫委員を經て在住韓人に向ひ喫飯後の習慣として生水を飲用するを廢して必ず沸煮水を用ふる事其他詳密に渉る注意事項を周知せしめたりと云ふ

●虎疫龍山を侵す

龍山坊東幕上契十二統八戸農鄭雲晉(五七)は一昨十五日午後十二時發病下痢症に罹り居ること十六日午後四時頃に至りて發見したる旨東幕駐在所詰氏家巡査よりの報告に接したる龍山署に於ては直ちに弓倉醫師を現場に急派し診察せしめたるに疑ひもなき虎列拉病と判明したるに依り谷川警部は竹村、黃、朴、の日韓人巡査を隨へ出張の上患者は自宅の一隅に隔離し家族九名は自宅の一部に收容交通遮斷をなし附近一帶には嚴重消毒をなしたるのみならず隣接せる人民に對し健康診斷をなしたる上午後十時一同歸署したる由なるが返へす〳〵も各自に於て注意が肝要

●幼兒虐待の後報

前號に既記せし迷兒は蛭間龜之助が内縁の妻石原はつの子の如く報せしは誤りにてはるは龜之助が郷里東京にて本妻とよとの間に設けし末子にして虐待せしは後妻はつなり又旭町一丁目質商池田長次郎氏が龜之助の代人として警察署に迷兒の搜索願を差出したる如く報せしは全く誤聞にして元來同氏夫妻は慈愛心深き仁にして恰かも十五日氏は所用ありて民團役所に出頭せし其の砌迷兒の話出でゝ未だ該兒の扶養者一向判明せずとの事に同情の念禁ずる能はず且つ掛員の迷惑を氣の毒に思ひ若し該兒の引取人申出なき際は自分に於て引受け養育しても差支なき旨申出でしまでの事なりと

●花代の取り戻し

仁川港碇船中の協同丸乘組員外園光治と云ふは去る十二日猫島南海樓に登樓して飲酒し醉拂ひたる紛れに酌婦の巴と云ふに花を附くべしとて散々悦ばせ其日は其儘立歸りて翌日又もや同樓に登樓し一圓四十錢の飲酒代を五圓札にて支拂はんとしたるに同樓は前日の戯談を眞に受けて二圓の花代を差引き釣錢を渡せしかば件の元治は頻りに青筋を出して怒り附けもせぬ花代を取るは不埒なりとて一昨日仁川署に訴出で結局同樓より二圓を返金せしめて事濟みたりとは飛んだ厄介者

●岩友の情婦遁亡

過般滿韓を巡業したる大阪角力の大關岩友が内縁の妻今は仁川淺岡樓に於て左褄を取れる巴拍子は如何なる事情のありてにや一昨夜九時頃家人の隙を見澄まして何れ共なく遁亡せしより樓内上を下への大騷ぎを爲し心當りの所を搜査中なれど今に見當らずとか

●刑事殺し公判期

京城刑事殺し事件第二回公判は今十八日午前十時より仁川理事廳公判廷にて開廷せらるゝ筈なるが該事件が社會の注目を惹ける丈け傍聽者も例に依りて多かるべし

●仁川花柳界便り

此頃は市況も幾分恢復したる所爲か各料亭も客足を增して樓主のホク〳〵顏見るも心地よく有之候處又しても开ん所其邊らの韓人部落に虎列拉の流行致候爲め恰も火の消へたるが如く淋しく相成申候▲淺岡樓は天津より八千代てふ新妓の現はれ候てより其は〳〵大した人氣にして宵の間より三絃の音絶間なしとは利吉クンの誤滿足も推量られ申候▲成程八千代拍子は芳紀正に十八歳花なら眞盛りの妙齡にして艶麗なる風姿は痛くも仁川の自然主義者連をして騷がせ申候聞くが如くんば渠れ八千代の十八番は衣は肝に至り袖腕に至るてふ劍舞に有之候とやさりとは顏に似合はぬ艶消沙汰に候よな▲同樓の町奴は初めのドエライ權幕に似も寄らず昨今の振はざる膨しきもの有之候實にや初めは脫兎の如く終りは處女の如しとは正に此妓を指すものに候べし▲一富士にて嬌名を唄れし君之助は甘く年季を勤めあげて此程久しく住み慣れし仁川を後に何れ共なくドロンと消へ失せ申候▲容貌は餘り振はず候へ共藝者として座持ちのよきは一山の琴代に有之候渠れは今や敗殘の一山樓を双肩に擔ひて一生懸命三絃に親しむ態感心の外あらず候▲鮮樓の笑子は此頃いたう色氣附き候て若き男とし見れば怪しき目附きを致候ものから若者共の恐れ座敷には一切出さぬとかに聞及び候▲八阪の光子は毎日大神宮樣に祈願を籠め什麽ぞ妾の望を叶へてよと手を合する態の不思議ぞと探つて見れば浮氣筋にはあらで息子の立身出世を祈るものなりとは●●●なんば殊勝の事に候はずや

吉凶鏡 本町五丁目 三二館判斷

九月十八日舊八月四日七赤大安辛巳なる△一白 願名の日船下し發足入學門婚姻に吉散財の虞れあり△二黑 疎誤懈怠より業務上に退歩失態なからんように懸念すべし△三碧 陰鬱の日殊に保健衞生に留意すべし伐木には吉△四綠 鼠賊遺失橫領詭計を防ぐべし言論の過失を戒しむ△五黃 爭瑞惹起し易し證書作成等は斯日を避して延期すべし△六白 夫妻親子間紛爭生ぜんか競爭に遭ふか中傷讒誣にあふあり△七赤 過失疎誤を來し易し動物車輛聯牽者は最も留意を要す△八白 家畜小兒從者の身上に留意し金品授受に疎誤あるなかれ△九紫 諸事手違多し契約約束は違背多し冶金の業には吉 右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

▲相談の相談▼(何でも御相談に應じ升)

◎問 小生は先達て中學入學を問ひ合せたる小學卒業生ですが今年中へ入學叶はずとの事依つて詮方なく思案し又も貴社の御厄介に成ります即ち來春四月入學生を募集する節二年級に編入試驗を受けられずや此段御手數ながら當局者に御伺ひ下さることは出來ませんかお願します(卒業生)

◎答 問合はせる迄もなく出來ると思ふ併し一年級の卒業生にて二年級の人員に充分にして、即ち空席がなければ二學年の生徒を他に向つて募集せらるべし然れば此の希望も無どなるべし一學年へ入學希望者も又甚だ多數なりと云へば入學試驗の成績優良ならざる以上此れとても如何あるべきか兎角は今に於て豫想するに難しと(係)

◎問 拙者渡韓の目的は未開墾地の下附願と水田の買入の希望で初めて御當地へ參りし事なれば一見識なき人計り相談に賴む人とても無し此に我の奇幸か幸に貴紙の何でも相談に應ずの欄を觀る我の喜悦はさながら闇黑に一の光を認るが思ひ依りて拙き筆を以て御相談に及ぶ次第です(一)未開墾地の下附願書何處へ差出ですか(二)未開墾地希望地を明記しても宜敷き哉(三)無ては何如哉(四)出願者の身元の資格は何程の者なるや連帶は宜敷哉否や(五)該書式の認樣をも教て下さい呈出は當地で差出ても宜敷き哉又郷里の村郡縣の役所を經て差出すべきか何卒貴紙の御敎示を仰度御願申上候(矢尾生)

◎答 御答申上候(一)所轄理事廳(二)希望地は明記すべし(三)不可(四)經營する資力あらば可、一定の資格なるものはなし(五)農商工部未墾地課に印刷したる樣式紙あり就て下附を願はるべし、猶連帶にて無論差し支へなし以上(係)

●天氣豫報(自十七日午後六時至十八日午後六時)

北東の風曇但少雨

十六日(華氏) 最高溫度 七二、三 最低溫度 六二、四

各種洗濯石鹸専門製造販賣
用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道、湯屋、散髪、諸工業用
京城旭町二丁目 (電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求職 多年小學教育に從事せし者至急相當の職業を求む但給料多きを望まず 氏名在社(四三二)
●被雇たし 中學二年修業年廿五個人商店に被雇たし 氏名在社(四三五)
●雇入 鳥類剥製に經驗ある者至急雇入れたし 氏名在社(四三八)
年廿四體驅大阪商業學校中途退學數年古着商に從事せし者相當の商店に雇れたし 氏名在社(四四〇)
年廿二生來繪畫に多大の興味を有するもの寫眞館に雇れ技術を見習ひたし確實保證人あり 氏名在社(四四一)
被雇度し 病人看護に經驗あり年四十二女 氏名在社(四四二)

物件部

○龍山電話格安に至急讓渡したし 氏名在社(四三三)
●龍山未設電話賣却又は貸渡したし 氏名在社(四三四)
●迷犬 雌犬毛色頭及尾茶褐色胴体は白黒斑點右迷込有飼主心當の者は至急本欄係へ
●電話至急買受たし 氏名在社(四四三)
若草町中央に地反二百坪餘一坪に付二圓内外を以て賣却す希望者來宅あれ 永樂座横 本田
本町赤門を起點として五間を距らぬ上等韓人建家土地共一坪五圓内外に賣却す望の人來宅あれ 永樂座横 本田

廣告

告愛媛縣人諸士

愛媛縣人觀光團(十八日午後八時廿三分南大門驛着)入京に付十九日午後六時より掬翠樓に於て一行の歡迎會開催致候間御出席相成度候
尚十九日午後五時倭城臺に於て一同撮影可致候
●會費金五圓(當日御持參のこと)
●申込所 旭町二丁目大久保雅彥 京城通信社、朝鮮日日新聞社、京城新報社内森隆孝
●申込期限 十八日正午限
發起人 (いろは順)
岩佐理藏、石丸言知、今井忠雄、大久保雅彥、岡正矣、宇都宮高三郎、久門雄二、矢野義二郎、藤原熊太郎、阿部秀太郎、森隆孝

京城旭町三丁目
日韓諸新聞
廣告取扱 京城廣告社

開業廣告

今般都合に依り荒井牧塲を辭し左記の個所に於て牛乳販賣仕候間(但し牛乳は松尾牧塲より)多少に拘らず御用仰せ付けの程伏て希願奉り候也
但し九月十五日よりは一合以上は市内は(朝晝夕)三回迅速に配達可仕候
京城旭町二丁目三百三十番戸
小生儀
愛光舍事 池田與八

取次申込所 京城旭町二丁目 山田屋商店 電話九百八十番

●花柳病一般、痔疾注射療法
神戸資生分院 京城梅毒病院
新築落成入院隨意
京城相生町(南門湯隣)
院長 元兵庫縣編原驅梅病院醫長 醫學得業士 蘆田耕平

辯護士
特許代理業者
京城明治町二丁目(佛國敎會前)
岩田仙宗
電話三五四番

電話開通 三百貳拾九番
牛、豚、鷄肉卸小賣 大販賣
本町一丁目三巴酒店前
明治町一丁目 石田精肉店出張所
電千〇四十二番
たからや

開業廣告

拜啓陳者下名儀多年内地に於て印刷業に從事致し居り候處當地人の懇篤なる勸めに任せ漸く諸種の準備を整ひ茲に開業致し候
活版、石版、寫眞版、製本、和洋式帳簿等の營業種目に就き各技術の鮮明と精巧とを期し得べき技手職工を雇入れ活字は和文、歐文書籍新聞雜誌等の文章ものより小は名刺レッテルの類に至るまで取揃へ樣整備いたし廣告類の如きは其意匠と要旨とを大体を御示しあらば文句は差支なく調進致すべく石版は普通器械に比し優に二十倍の印刷力あるロールミシンと作成し付け可成器械力を利用して迅速と廉價とを計り親切鄭寧を旨として紙質を精撰し意匠に工夫を凝らし精心精意顧客の御便益を計らんと存候據時は新秋事業界漸く多事ならんとする折柄多少に拘らず御用命被仰付度尚御序の節には工場御一覽の榮を賜り其空言ならぬ御實檢被成下度偏に冀ひ上げ奉候敬具
京城旭町二丁目(名古屋城の東二軒目)
京城印刷所 電話五七二番
龍山元町三丁目(郵便局向ひ)第八十番戸中谷方
龍山出張所 電話三二九番

消毒用デシンフォルマリン外一式
病虫害驅除豫防薬一式
工業用薬品一式
農具種子苗木肥料類
京城本町一丁目(長谷川町角)
三輪商會 電話三八六番

藥學博士丹波敬三先生發明
消毒 防臭 殺菌劑
クレシン
韓國内部衛生課御試驗濟
韓國各官衙
統監府各官衙
陸軍各官衙
御用品
販賣元 東京 合資會社 高田商會銀座販賣店
韓國特約店京城本町 山岸天佑堂藥房 (電話三百七十二番)

秋冷の候各位益々御清榮の段奉賀候當店儀皆々樣の御厚情を蒙り日増に繁榮に趣き從來の家屋にては手狹を感じ候に付今回曙町元大韓日報社跡へ移轉仕り物馴たる仲居數名を置き從來の料理の外會席すき燒等萬事御手輕を旨とし安價に調理仕一層勉强可仕候間不相變御引立の程偏に奉希上候謹言
移轉御披露
京城曙町(元大韓日報社跡)
俵すし 松善

概略營業品目

和洋帳簿諸紙類
文房具學校用品類
卷紙封筒手帳類
帽子洋傘クツ鞄
洋服附屬品一式
メリヤス類一式
毛布膝掛馬車掛
石鹸香水歯磨類
タオル、ハンカチフ
手袋沓下袋物類

正札 ㊀ 引なし

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●
●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

官衙、陸軍、銀行、會社 御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
電話二百〇六番
和洋雜貨卸小賣商

洋食
生そば
うなぎ丼
うなぎ蒲燒
天ぷら
辨當折詰類
今回生そば相始め一層勉强致し候間多少と遠近とに不拘續々御用命之程願上候
南大門驛構内
電話六八七番
エーテー

明治廿年七月創立●
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓●
京城代辨店 本町四丁目 山口吳服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

●祝開業三週年●
江湖御客樣方の御引立に預り日ましに繁榮に赴き誠に難有仕合に奉存候就きましては本年は恰も開業三週年に相當致候得者自祝の意を表する爲め當分の内左記之通り特別大勉强仕候間賑々敷御光來の程伏して奉待上候あらく可祝
會席二膳附
並等 壹圓
上等 壹圓半
特等 貳圓
上り次第
但御酒は上記代金の内にて召
尚々十人以上の御宴會は御人數に應じ花代なしにて相應の藝妓をして御座敷を斡旋致させ申候
京城大和町三丁目
電話七三五
梅の家

綿わた(やすくうります)綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類
京城明治町一丁目四ツ角
御問屋 唐川商店
電話二六一番

移轉廣告
●正札より一割引●
弊店儀大方各位の御引立を蒙り日々繁榮に赴き從來の店にては手狹を感じ候に付今回左記之塲所に移轉し一層業務を擴張して御得意樣方の御便利を圖り聊か平素御愛顧の萬分の一に酬ん爲め移轉の御披露として向一週間正札より一割引仕候間何卒一層御用命の程奉懇願候
九月十日
京城本町二丁目
富田製靴店 電話九一九番
京城本町六丁目
富田製靴支店



内外科
産科
小兒科
花柳病
入院隨意
京城旭町一丁目三二六番戸
安東病院
電話七十三番

資本金十圓にて一月壹圓以上の利益ある職業あり
希望の方は御來談あれ
京城黄金町三番戸
國松商會



折箱製造元
京城明治町一丁目五十番戸
箱信事 漢城病院下横へ入ル
鳥山商店

●滋養と牛乳●
純良牛乳
京城東四軒町
岡野牧塲
電話壹〇六九番
●衛生と消毒●
馬車配達

日本郵船株式會社
濟船仁川出帆廣告
電話十番
仁川海岸通
電話三九番
貨物及船客取扱店
郡回漕店
◎釜山長崎門司神戸行
山東丸 九月二十六日午後三時出
●大連、大沽、牛莊行
高砂丸 十月十四日正午時出
●大連、大沽、牛莊行
山東丸 月 日午前四時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸 九月三十日正午時出
●釜山出帆、元山、浦潮行
立神丸 十月六日午後出
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止塲ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金八十錢▲六ヶ月前金壹圓六十錢▲一ヶ年前金三圓▲郵税一ヶ月金十錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行金二十五錢▲一回五十錢以上 (廣告五號活字十九字詰一行金六十錢)
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 橋久禰一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六三番